

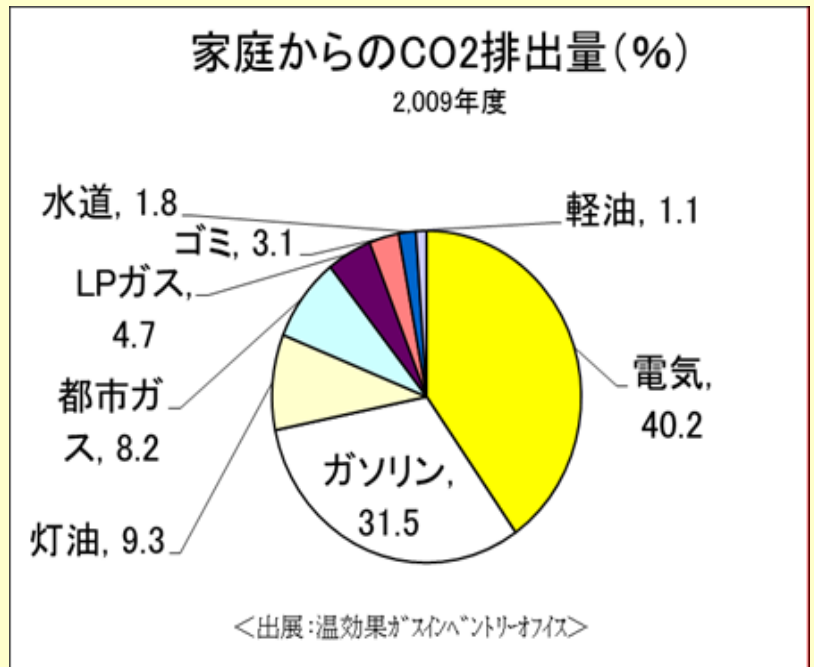
■エコなライフスタイル実現

COP17での「ダーバン合意」は新たな枠組み策定にいたらず、今年度は地球温暖化防止の視点では進展の少ない年でした。一方、原発事故に起因する使用電力量削減は、企業や個人の努力で一定の成果がありました。今回は、地球温暖化防止活動の原点について考えてみます。

昨夏および今冬は、電力の使用ピーク時間帯での抑制が要請されましたが、地球温暖化防止の視点では、トータルでのCO2削減・吸収が達成されなければ効果は期待できません。

右図に家庭での燃料別CO2排出量を示しますが、日常生活においてエネルギーを使わない生活は考えられず最少エネルギーで快適な「エコなライフスタイル」を実現する工夫が求められます。

「エコなライフスタイル」を実現するアプローチとして、通常は実態把握(うちエコ診断など活用)→影響大から対策→検証→継続の手順を踏みますが、通常は手間がかかります。簡易的方法として以下の視点での取り組みを推奨します。

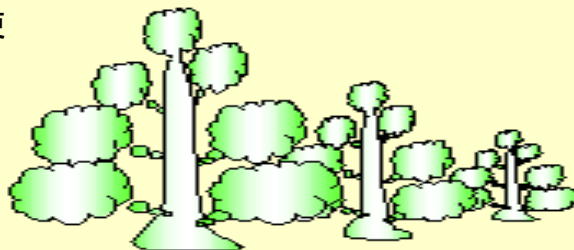


①生活習慣を変える

- ・公共交通機関や徒歩移動
- ・家族分散せず生活する
- ・残り湯を有効に使う
- ・衣服調整で冷暖房抑制
- ・料理の際圧力鍋を使
- ・廃棄ゴミを減らす
- ・エコカーに乗り換え

②生活環境を変える

- ・こたつに保温シートを敷く
- ・省エネ製品に置き換える
- ・照明をLEDへ切り替える
- ・余力があれば太陽光発電



植樹は CO2 吸収活動

③地域・社会活動へ参加する

- ・環境ボランティアへ参加
- ・リサイクルへの協力

以上のような取り組みを継続すればトータルでのCO2削減・吸収ができ、行動することで個人の健康増進になります。また、個人の健康が、地域・社会の活性化にもつながります。これからもできる範囲で、工夫しながらチャレンジしましょう。

CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2012.03掲載

生活を見直し
出来るものから
始めてみましょう。



2012.3.3
パナソニック松愛会
横浜東支部 エコ担当 小川友通